

## 崇城大学専門学校 単位修得・進級・卒業について

### 1、授業、欠席、欠課

#### (1) 授業

各学期に各科目とも 15 週以上の授業を実施する。この実施された授業時間の 3 分の 2 以上に出席することが単位修得の条件となる。

#### (2) 欠席、欠課の取り扱い

##### (ア) 欠席

やむを得ず授業を欠席する時または欠席した時は、「欠席届（様式 1）、欠課届（様式 2）」を事務室に提出すること。

なお、病気等で欠席が 1 週間以上になるときは、医師の診断書等を添付すること。

##### (イ) 公欠の扱い

次の項目のいずれかに該当し、所定の手続きを経て公認欠席または公認欠課と認定された場合は、欠席または欠課としない。

- ① 忌引の場合（日数は次の通りとする）  
（父母 7 日、祖父母 3 日、兄弟姉妹 3 日、伯叔父母 1 日）
- ② 天災等による交通機関の運行停止の場合
- ③ 正当な就職活動の場合（説明会、試験、面接等）
- ④ 学校を代表して各種行事に参加した場合（体育、文化）
- ⑤ その他、学校長が認めたもの

### 2、試験

#### (1) 試験区分

試験は定期試験、追試験、再試験の 3 つに区分される。なお、試験時間は特別な指定がない限り 90 分間とする。

##### (ア) 定期試験

定期試験は各学期末に実施する。

##### (イ) 追試験

やむを得ない事由（公欠など）により定期試験を受験できなかった者に対して行う試験である。追試験科は不要である。

##### (ウ) 再試験

再試験とは、定期試験で 60 点未満であった者、定期試験を受けなかった者に対して実施される試験のことをいう。再試験で合格点に達しない者に対して実施される試験も再試験という。

なお、再試験の受験には再試験料（初回のみ）が必要であり、試験前に事務室で手続きを済ませること。

#### 再試験に該当する項目

- ①定期試験で 60 点未満の成績であった者
- ②再試験で 60 点未満の成績であった者
- ③定期試験を受験しなかった者

ただし、③に該当する者は受験できなかった理由を証明する関係機関の証明書を、所定の届け書に添付して提出すると追試験を受験できる。

#### (2) 受験資格

授業時間の 3 分の 2 以上出席していない者は原則として、定期試験を受験できない。

#### (3) 受験上の心得

- (ア) 各試験を受験する際は必ず学生証を提示すること。学生証を紛失等で提示できない時は、事務室で学生証の再発行等の手続きを済ませてから受験すること。
- (イ) 正当な理由がなく、試験開始後 20 分以上遅刻した者は受験できない。
- (ウ) 学納金、再試験料を納入していない者は受験できない。
- (エ) 定期試験等で不正行為が判明した者は、その科目の成績評価は原則として行わない。

#### (4) 定期試験等を受験しなかった者の取り扱い

正当な理由がなく定期試験等を受験しなかった者には、その科目の成績評価は原則として行わない。

### 3、成績評価と単位認定

#### (1) 成績評価の実施時期

成績評価は各学期末および学年末に行う。

#### (2) 成績評価の基準

成績評価は各学期末の定期試験成績と平常成績とを総合して評価する。

なお、平常成績とは授業中に実施した小テスト、課題提出物、学習態度、出席状況等を総合評価したものである。

#### (3) 成績評価と合否

成績評価は A、B、C、D の 4 種類をもって表す。

- A……80 点以上
- B……80 点未満～70 点以上
- C……70 点未満～60 点以上
- D……60 点未満

A、B、Cは合格とし、Dは不合格とする。

(4) 単位

(ア) 単位とは

1週に1回90分の授業を半期(15回以上実施)履修し、出席時数、定期考査の成績が必要条件を満たした時、2単位の修得になる。

ただし、必要条件とは出席時間数が実施授業数の3分の2以上であり、試験成績が60点以上であること。

(イ) 各学期の履修単位数と卒業に必要な修得単位数

学科	卒業に必要な修得単位数
情報学科	120

4. 進級および卒業について

(1) 進級の条件

- ・年間の修得単位数が50単位以上であること。
- ・学生としての本分に反していないこと。
- ・すべての納入金を完納していること。

上記の条件を1項目でも満たせない者は進級できない。

(2) 卒業の条件

- ・所定の修業年数を在籍し、必要な単位数を修得していること。
- ・学生としての本分に反しないこと。
- ・すべての納入金を完納していること。
- ・各コースの必修科目の単位を修得していること。

上記の条件を1項目でも満たせない者は卒業できない。